

技術・家庭 (家庭分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	家庭 701	AB 306	令和2年
6	教育図書	教 図◆	家庭 702	A4 変形 308	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	家庭 703	AB 302	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 日本文化・異文化理解とコミュニケーション能力を育成するため、日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせる。
- (2) 豊かな教養を涵養する教育を展開するため、基礎・基本を確実に定着させるとともに、発展的な学習を積極的に行う。
- (3) 国際色豊かな学習環境を整備するとともに、ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 中学校の技術・家庭（家庭分野）では、衣服の製作、調理、幼児との触れ合い等の実践的・体験的な学習活動を中心として行う。
- (2) 観察・実験・実習、調査・研究、発表・討論、社会体験などの体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	台東地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 国際社会で活躍する生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国の交流を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立白鷗高等学校附属中学校 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東書	92	19	81
教図	86	24	72
開隆堂	130	44	107
平均値	102.7	29.0	86.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。
- c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 世界的視野をもち、国際社会に貢献しようとする志と使命感をもつ生徒を育成するため、大学や国際機関の教育力を活用し、国際社会における在り方や生き方を主体的に考えさせる。
- (2) 自然科学をはじめ各教科で確かな学力を育む教養教育を展開するために、基礎学力を確実に定着させるとともに、生徒一人一人の習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を行う。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 衣食住の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な技術を身に付けさせる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、解決しようとしたり、「保育実習」を通して幼児と適切に関わろうとしたりする態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 国際社会に貢献しようとする生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国の交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で、保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立小石川中等教育学校(前期課程) 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東書	19	134	81
教図	24	70	72
開隆堂	44	55	107
平均値	29.0	86.3	86.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 豊かな心と世界的視野をもつ生徒を育成するため、全ての知的活動の基盤である国語力を育成し、我が国の社会、自然、文化などへの理解を深めさせ、日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 広く深い教養、知性を涵養する教育を展開するため、基礎・基本を徹底して定着させ、発展的な学習を積極的に展開して応用力を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 中学校の技術・家庭（家庭分野）では、衣服の製作、調理、幼児との触れ合い等の実践的・体験的な学習活動を中心として行う。
- (2) 地域と協力した体験学習、地域調査・研究等により、地域から学ぶ学習を積極的に取り入れる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で、保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立両国高等学校附属中学校 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東書	19	134	81
教図	24	70	72
開隆堂	44	55	107
平均値	29.0	86.3	86.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会を担う生徒を育成するため、論理的な思考力・表現力を育成し、日本の伝統や文化を理解するとともに、他国の文化を理解し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 高い知性を涵養する教育を展開するため、教科教育を充実させ、確かな学力を身に付けさせるとともに、個性の伸長や創造力の育成につながる発展的な学習を積極的に行う。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校整備に関する検討委員会報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校教育課程第1章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	同上	箇所
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、他国の文化を理解し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育むために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 国際社会を担う生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わりの中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立桜修館中等教育学校(前期課程) 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東書	92	19	8
教図	86	24	9
開隆堂	130	44	8
平均値	102.7	29.0	8.3

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。

b 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒を育成するため、外国語教育を充実させ、英語を中心としたコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、日本の伝統や文化を理解し、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度を養う。
- (2) 確かな基礎学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的な思考の根幹となる日本語の基礎・基本を定着させるとともに、思考力、表現力を引き出す内容を積極的に取り入れた学習を行う。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 衣食住を中心に日常生活に必要な基礎的な知識、技術を実践的・体験的な学習活動を通して身に付けさせる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒を育成するため、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わりの中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校(前期課程) 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東書	19	81	8
教図	24	72	9
開隆堂	44	107	8
平均値	29.0	86.7	8.3

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会で活躍するリーダーを目指す生徒を育成するため、科学的・論理的に考える力や表現する力を育成し、自国の文化、社会の理解を深めるとともに、他国との相互理解に必要な資質を培う。
- (2) 豊かな知性と感性を育む教養教育を展開するため、系統的・発展的な指導を行い、教科学習を充実させるとともに、地域の教育資源を活用した体験的・発展的な学習を行う。また、大学や研究所、企業等と連携し、科学的な見方や考え方を育成する学習を行う。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 生活に必要な衣食住について基礎的な知識、技術を実践的・体験的な学習活動を通して身に付けさせる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 国際社会で活躍するリーダーを目指す生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 持続可能な社会の構築に対応して、消費生活や環境に配慮したライフスタイルと確立について扱っている箇所を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立武蔵高等学校附属中学校 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 持続可能な社会について扱っているページ数
東書	19	134	19
教図	24	70	6
開隆堂	44	55	16
平均値	29.0	86.3	13.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「持続可能な社会について扱っているページ数」については、持続可能な社会の内容に触れているページ数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い知性と深い教養を育む教養教育を展開するため、大学、企業、文化施設及び地域での学習や自然に触れる体験的な学習を積極的に取り入れる。
教育活動を通じて「探究心」を育て、特色ある教育の一層の充実を図る。
- (2) 社会のリーダーとしての能力や資質をもつ生徒を育成するため、様々な文化・芸術・自然等に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高め、奉仕活動を通して社会に貢献する志を培う。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 様々な文化・芸術・自然等に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高める。
- (2) 生活の自立に必要な衣食住や消費生活に関する、基礎的な知識や技術を習得し、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
- (3) 家庭や地域・環境問題などについて、実験・実習を取り入れ、生活の自立と共生の姿勢を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 体験的な学習を通して、日本の伝統や文化を理解し、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立富士高等学校附属中学校 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東書	92	19	81
教図	86	24	72
開隆堂	130	44	107
平均値	102.7	29.0	86.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。
- c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 確かな学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的思考力を育成し、情報化社会のリーダーとしての資質を養うため、教育の情報化を積極的に遂行する。
- (2) 豊かな人間性とリーダーとしての資質をもつ生徒の育成とともに、国際的視野をもつ生徒を育成するため、我が国の文化、他国の文化に触れる機会を多く取り入れ、国際的視野を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 衣食住に関する知識と技術の習得を通して、自分の生活に対する関心を深め、生活の自立を図る。
- (2) 幼児との関わりを通して、家族や周囲の人々との人間関係の大切さや家庭生活を営む意義を見出す。
- (3) 家庭生活と消費について考えを深め、豊かな家庭生活への実践の手掛かりとし、より良い生活を主体的に工夫できる能力や態度を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	同上	箇所
c 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 豊かな人間性とリーダーとしての資質及び国際的視野をもつ生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- c 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立大泉高等学校附属中学校 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	c 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数
東書	92	19	134
教図	86	24	70
開隆堂	130	44	55
平均値	102.7	29.0	86.3

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。

b 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

c 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 精神の豊かさと確かな学力を追求し、国際感覚を育てる。そのため、地域への理解を深めるとともに、世界へ広がる視点のもとに国際感覚を涵養し、異文化理解のための指導を行う。
- (2) 質の高い教育活動を行うため、専門的な学問領域に触れさせ、知的好奇心を鼓舞し、科学的探究心溢れる教科指導を行い、大学や企業との連携・接続により最先端の学問・芸術、社会や経済の動向に触れさせる。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得し、家庭の機能と生活改善等の内容を実践的・体験的学習を通して学ぶ。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 豊かな人間性とリーダーとしての資質及び国際的視野をもつ生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立と衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立南多摩中等教育学校(前期課程) 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東書	19	134	81
教図	24	70	72
開隆堂	44	55	107
平均値	29.0	86.3	86.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い見識と幅広い視野を育成する教育を展開するため、論理的な思考の根幹を担う日本語の基礎・基本を重視し定着・伸長させ、観察、実験、実習、見学等の体験的な学習を積極的に取り入れる。
- (2) 高い倫理観、豊かな人間性をもった生徒を育成するため、ボランティア体験、奉仕体験活動を有機的に編成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 実践的・体験的な学習活動に重点を置き、生活の自立と共に必要な衣食住についての知識と技能を身に付ける。
- (2) 家族、家庭の機能や役割について理解を深めるとともに、人との関わりや住みよい地域づくりについて学ぶ。
- (3) 消費生活、エネルギーの利用、環境問題などの発展的な学習を行い、自ら課題をもって解決する態度を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	箇所
c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数	同上	箇所

※ 調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立と衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 持続可能な社会の構築に対応して、消費生活や環境に配慮したライフスタイルと確立について扱っている箇所を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立三鷹中等教育学校(前期課程) 技術・家庭(家庭分野)

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 持続可能な社会について扱っているページ数
東書	92	81	19
教図	86	72	6
開隆堂	130	107	16
平均値	102.7	86.7	13.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。
- c 「持続可能な社会について扱っているページ数」については、持続可能な社会の内容に触れているページ数を数えている。

